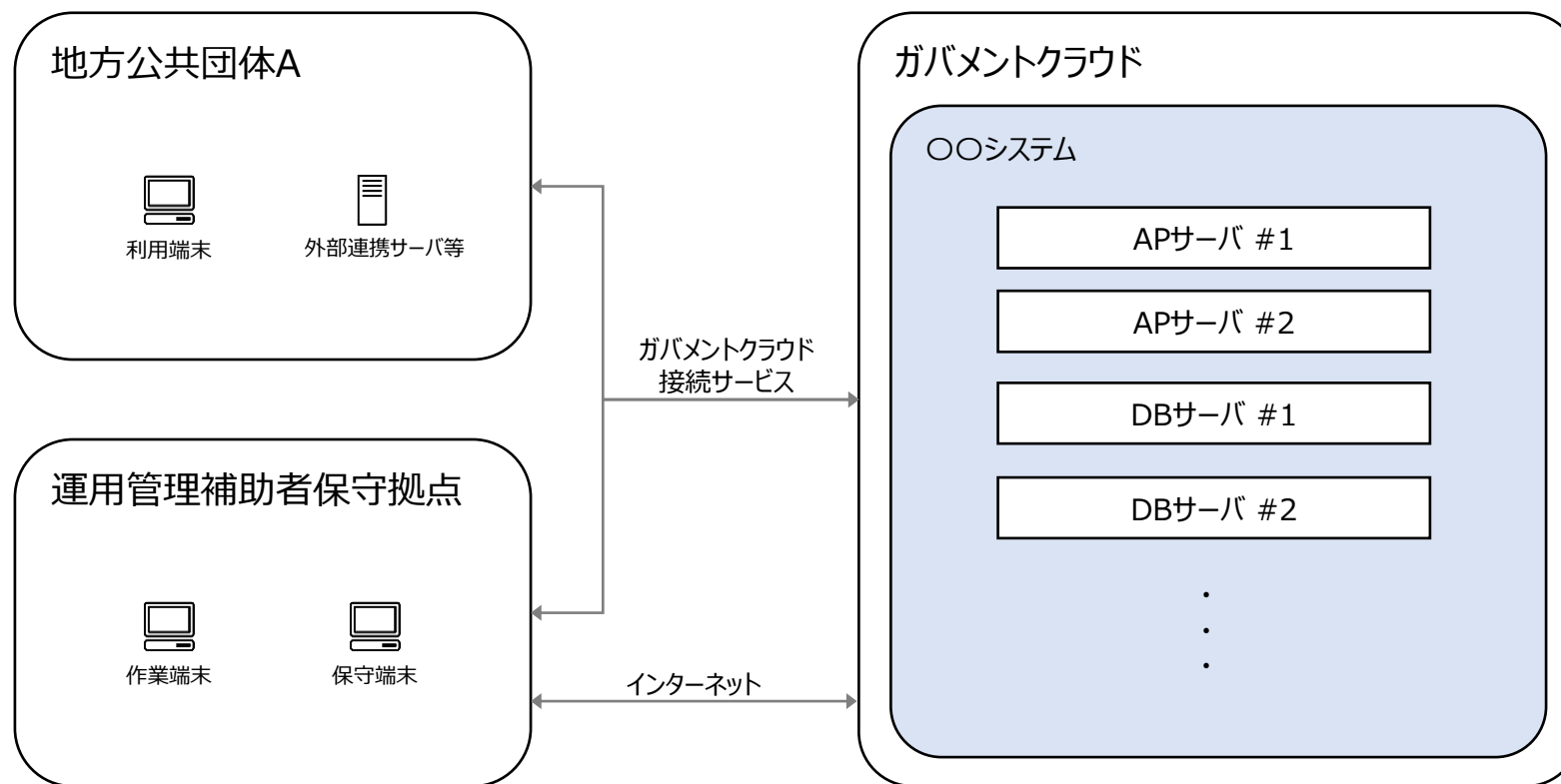


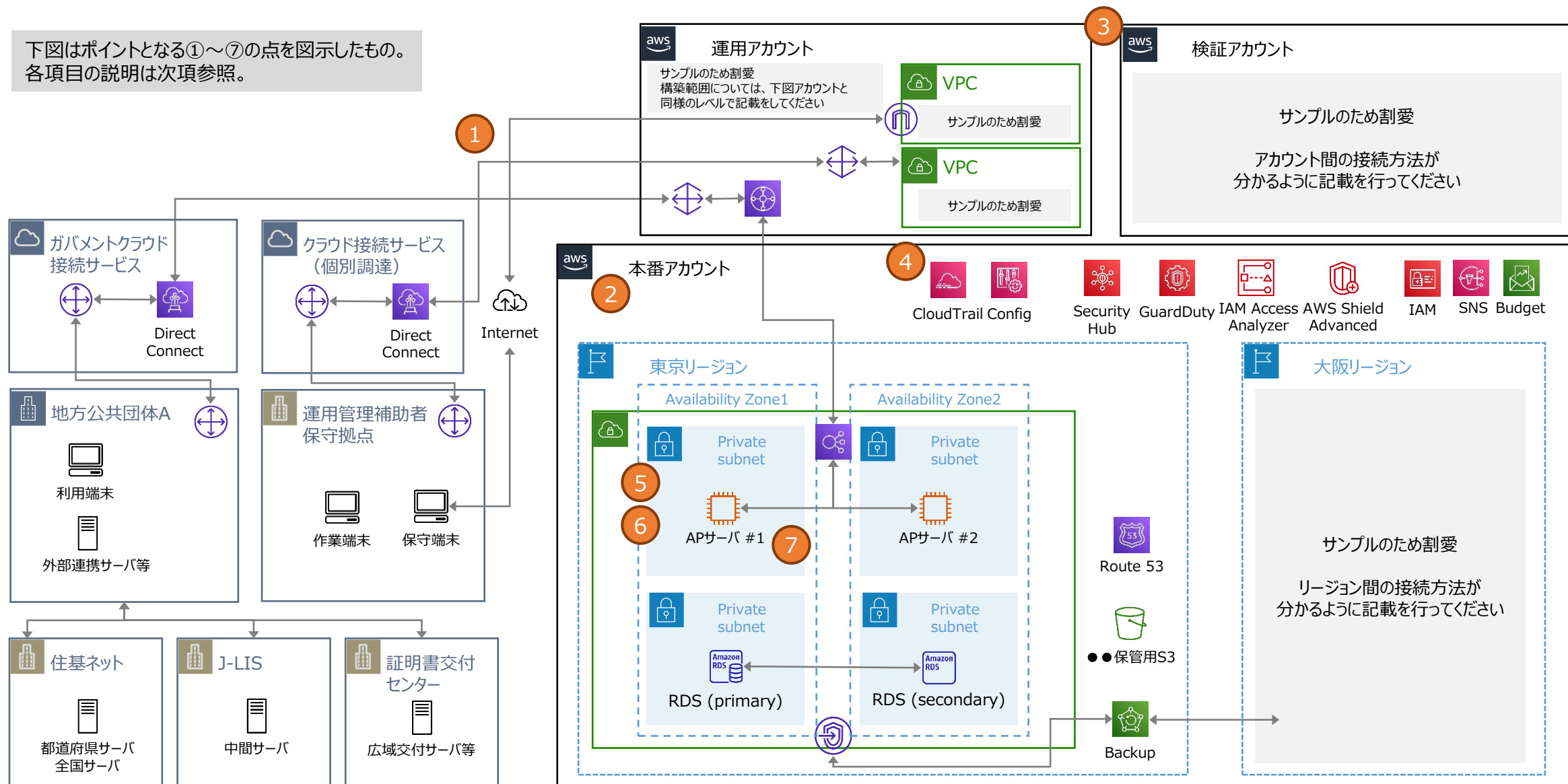
再提出が必要となる構成図の例

- ガバメントクラウドに対する接続方法や利用予定のCSPのサービスを組み合わせた具体的な構成が把握できない場合は、事業計画書の再提出をお願いする場合があります。



構成図の作成例（AWSの場合）

下図はポイントとなる①～⑦の点を図示したもの。
各項目の説明は次項参照。



構成図作成時の注意事項

No.	注意のポイント
①	<ul style="list-style-type: none">・ガバメントクラウドとの接続方法について、利用するサービスや通信経路等が適切に図示されていますか？・また、環境間やリージョン間の接続についても、同様に図示されていますか？
②	<ul style="list-style-type: none">・利用予定のサービスについて、各CSPが提供するサービスアイコンを使用して具体的に図示されていますか？・構成図の記載内容について、各CSPが提供する見積もりツールを使った試算結果と整合が取れていますか？ <p>※ガバメントクラウドの範囲に関して見積もり試算結果と構成図に矛盾がないことをご確認ください。複数団体で共用のリソースがあるなどして、範囲が分かり辛い場合は、見積対象範囲を構成図中に明示してください。</p>
③	<ul style="list-style-type: none">・本番環境だけでなく、ガバメントクラウドに配置を希望する環境全てにおいて見積もり・構成図が用意されていますか？
④	<ul style="list-style-type: none">・ガバメントクラウドにおいて利用が必要となるサービスを見積もりに反映できていますか？
⑤	<ul style="list-style-type: none">・ガバメントクラウド内の構築範囲に関して、ネットワーク構成の想定が読み取れる記載となっていますか？
⑥	<ul style="list-style-type: none">・「ガバメントクラウド手続き概要」を参考に、想定しているガバメントクラウドの移行パターン（例：Replatform / Rebuild）に対して各種基準を満たしていることを確認しましたか？・満たしていない項目がある場合は、現状満たせない理由や令和7年度末までに基準を満たした形での移行を目標とすることを調査票に記入しましたか？ <p>■ 基準の例（例外条件などは「ガバメントクラウド手続き概要」をご参照ください）</p> <ul style="list-style-type: none">・運用/セキュリティ（監視・ログ収集・バックアップ等）、RDBをマネージドサービス化している（仮想サーバを立てない）・共有ストレージ（ファイルサーバ等）をオブジェクトストレージ化している・シンクラ、VDI、DaaSを利用していない・マーケットプレイスやBYOLの利用を行っていない
⑦	<ul style="list-style-type: none">利用予定のコンピューティングリソース（仮想マシン等）について、役割やサーバ名を記載していますか？ <p>■ 記載例：APサーバ / DBサーバ / 運用管理サーバなど</p>